

暮らしている場所（地域）で「愛着とこだわり」を育くむ継続的な取り組み

2024年2月23日

桂ヶ丘自治会まちづくりプロジェクト委員会（かわさき）

（1）1994年入居を開始した桂ヶ丘の2023年10月1日現在の人口：1,250人

高齢化率：21.20%（うち後期高齢化率8.32%）

0歳～14歳：129人（10.32%） 15歳～64歳：856人（68.48%）

（0歳～4歳：12人、5～9：30人、10～14：87人、15～19：146人、20～24：72人 *0歳～24歳：347人 27.76%）

2015年4月1日現在での桂ヶ丘の人口：1,371人 高齢化率：12.69%

（2）桂ヶ丘自治会まちづくりプロジェクト委員会の歩み

○「自然豊かで、閑静な美しいまち・桂ヶ丘」「住み続けることができる魅力あるまち・桂ヶ丘」を目指して、2004年11月28日、桂ヶ丘自治会まちづくりプロジェクト準備会が出来ました（自治会役員数名と住民有志で構成）。2005年3月27日の第11回桂ヶ丘自治会定例会で、桂ヶ丘自治会まちづくりプロジェクト設立。

○同年12月11日に「桂ヶ丘地区計画アンケート集計」（結果報告）、結果を踏まえ、懸案であった「近隣センター地区内の建築物の用途制限」（ホテル・旅館、パチンコ店、マージャン屋、共同住宅・長屋など建築不可）について地権者であるハウジングイースト社と数年にわたって協議を重ねて合意に至りました。

2006年3月19日、桂ヶ丘住民説明会を桂ヶ丘自治会まちづくりプロジェクトが開催。

2006年7月21日を投票締め切り日とする「桂ヶ丘地区計画見直し最終案に対する賛否投票」を実施（1世帯1地権者ごと）。9割近い賛成で、可児市へ地区計画の改訂を要望。

○まちづくりプロジェクトの活動の一部としてスタートした公園整備。2009年9月に桂ヶ丘公園整備事業の準備会として、新たに「桂ヶ丘公園づくりわくわくワークス」が発足。

桂ヶ丘には11の公園があります。うち5カ所の公園は、2000年はじめに開発事業者の倒産で未整備のまま可児市に移管されました。2008年頃から、桂ヶ丘に子育て世代の入居が増えてきたことに触発されて、未整備の4カ所の公園（やすらぎひろば、フラワー広場、わんぱくひろば、もみじこうえん）を「可児市市民参画と協働のまちづくり条例」に基づき、2010年から3年間、「桂ヶ丘公園づくりわくわくワークス」が中心となり、岐阜県国際園芸アカデミーの先生、学生のアドバイスを受けながら公園整備を行いました。また、自治会主催の公園完成お披露目式なども行ってきました。

現在も最後に未整備で残されている「憩いの丘公園（8,115㎡）」（A公園）を県国際園芸アカデミーの先生、学生のアドバイスを受けながら、可児市と協働で、公園づくりを行っています。2016年東屋、2018年に新たな出入口として階段設置、記念樹として「桂」の植樹、既存の公園の維持活動として、子ども会の協力を得ながらベンチや公園名称板の補修・塗装、「もみじこうえん」の老朽化した階段補修…、住民が利用しやすい公園維持・整備を目指して活動を継続中！

憩いの丘公園の「基本プラン」は、公園所有者である市と桂ヶ丘住民の確認済み。

カブトムシプロジェクト（仮称）や巣箱づくり、進行中！

楽しみながら出会い、つながる…「愛着とこだわり」を育んでいけたらいいね



憩いの丘公園に建てられた東屋＝2016年12月



かげぼうし時計の周りを植栽＝2014年11月



桂ヶ丘秋まつりで巣箱づくり＝2023年11月